

令和
2年度

第1回 6月26日 肝臓病教室



『B型肝炎の治療について』 担当:大野医師

B型肝炎の疫学、感染経路、経過、診断、治療、再活性化について講義がありました。B型肝炎は、垂直感染や水平感染によって感染しますが、ワクチンによる予防が可能です。発癌や肝硬変のリスクに対しては検査でわかります。また、キャリアであっても定期的なフォローが大切です。また、過去に感染した方で免疫抑制を起こす治療を受ける場合は、注意が必要です。

『肝臓の検査について～血液検査と腹部エコー～』

担当:藤永臨床検査技師

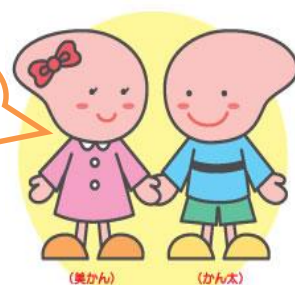
肝臓の機能と検査項目についての講義がありました。肝臓は沈黙の臓器と言われており、炎症があっても重症化するまでなかなか自覚症状があらわれません。しかし、適切に検査を受けることで早期に肝障害に気づくことができます。検査には、高くなると危険な項目と低くなると危険な項目がありますが、一項目だけではなく、全体のバランスも重要です。個人差もあるため、自分の数値を正しく理解しましょう。

『あなたと大切な人を守るために～感染予防と日常生活の注意点～』

担当:増井看護師

感染予防と日常生活(食事、運動、飲酒等)について講義がありました。血液を介する行為では感染リスクが高くなりますが、一般的な生活では感染することはありません。患者様のご家族やパートナーの方への肝炎検査とワクチン接種をお勧めしています。肝臓に関する相談がありましたら、当院の肝疾患相談支援室をご利用ください。

肝臓病教室は年に6回開催しています。
患者さんやそのご家族、肝臓病に関心のおありの方は
どなたでもご参加いただけます。予約は必要ありません。
多くの方のご参加をお待ちしています。



次回は...

第2回 7月31日(金)

『C型肝炎の治療について』(担当:日高医師)

『予防が大切!肝臓病とお口のトラブル』(担当:歯科衛生士)

『肝臓をいたわる食事について』(担当:管理栄養士)

山口大学医学部附属病院 肝疾患センター

TEL: 0836-22-2371

<http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~kanzou/index.html>

